

# テレビドラマとは違う 法医学教室の実際

■日時 2024年12月7日(土) 14:00~15:30

■場所 兵庫医科大学 神戸キャンパス M204教室

■講師 兵庫医科大学 医学部 法医学

教授 西尾 元

参加費  
無料

■受付 13:30~

■講演 14:00~15:30

■健康相談 15:30~17:00 (※事前申し込み優先)

※講演テーマ・薬一般についてのご相談をお受けいたします。



兵庫医科大学の法医学教室では、阪神間6市1町における法医解剖業務を担当しています。解剖は全て警察からの依頼によって行っています。亡くなったときに、はっきり病死と診断できない遺体は「異状死体」と呼ばれます。異状死体のうち、警察が解剖する必要があると判断したときに、解剖することになります。こういった場合に、解剖することになるのか。実際に、どのような人を解剖しているのかなどを紹介します。

## 【お申し込み】

お電話・FAX・メールで下記までお申し込みください。

〒650-8530 神戸市中央区港島1-3-6

兵庫医科大学 神戸キャンパス (地域連携担当)

TEL: 078-304-3111

FAX: 078-304-2713

メール [chi-ki@ml.hyo-med.ac.jp](mailto:chi-ki@ml.hyo-med.ac.jp)

\*参加証は発行いたしません。当日直接会場にお越しください。

\*車でお越しの方は、駐車場の数に制限がありますので事前にご連絡ください。

\*兵庫医科大学 神戸キャンパスへのアクセス

ポートライナー「三宮」駅より「みなとじま」駅下車西へ徒歩約10分





## テレビドラマとは違う 法医学教室の実際

兵庫医科大学 医学部  
法医学 教授 西尾 元

法医学教室を舞台としたテレビドラマがテレビ放送されています。多くは犯罪に巻き込まれて亡くなった方を扱っています。法医解剖医が、警察官と協力して、事件を解決していくといった内容です。しかし、実際には、そのようなことを私たちはしていません。兵庫医科大学の法医学教室では、年間に約200件の解剖を行っていますが、犯罪によって亡くなった方を解剖することは、ほとんどありません。実際に解剖しているのは、死因がわからない遺体です。最近では、一人暮らしの高齢者が増えています。自宅で何か急な病気がおこっても、病院に連絡することができず、そのまま亡くなってしまうこともあります。遺体が見つかったときに、亡くなったときの状況がわからないのです。人口の高齢化や独居生活者の増加、認知症、アルコールを含む薬物中毒など、今の日本が抱える問題点が、遺体という形で、法医学教室に運ばれてきます。講演では、いまどきの日本人の死に方を紹介するとともに、亡くなったときに、できれば解剖されないためには、どうしたらよいのかについて考えてみたいと思います。なお、講演では、実際の解剖写真を使うことはありません。

次回の予定：2025年春 薬学部 兵庫医科大学 神戸キャンパスにて開催予定

↑  
ポアイ4大学による連携事業  
12月7日公開講座  
「テレビドラマとは違う法医学教室の実際」  
参加申込用紙

↑  
メールの方は  
こちらから  
お申込みください。



|         |           |               |
|---------|-----------|---------------|
| ふりがな    |           | 性別            |
| お名前     |           | 男性<br>・<br>女性 |
| 連絡先電話番号 | (       ) |               |

(FAX送信先 078-304-2713)